



ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2020～2021 年度 RI のテーマ
Rotary Opens Opportunities

Rotary



会長 折原 正昭 幹事 野口美津夫

<http://www.sugito.club>

第2559回例会 2020年7月9日

点鐘

折原(正)会長

ロータリーソング

我等の生業

会長あいさつ

折原会長

本日も ZOOM や多くの皆様に会場に来て頂き例会を開催することが出来まして感謝致します。先週は RI 会長のメッセージを中心に話をしましたが、今週は地区の目標を発表したいと思います。



【2020-21 年度地区数値目標】 ※年度計画書参照

1. 会員数 2,700 名以上 2. 出席率 90% 以上
3. R 財団年次寄付 200 ドル～ ポリオプラス 50 ドル～ 恒久基金 大口寄付 地区内 1 万ドル以上を一括寄付
4. 米山寄付 25,000 円/1 名以上 5. 青少年交換 16 名

【ロータリー特別月間】 ※年度計画書参照

- 8 月 会員増強・新クラブ結成推進月間
- 9 月 基本的教育識字率向上月間&ロータリーの友月間
- 10 月 地域社会の経済発展月間 & 米山月間
- 11 月 ロータリー財団月間 12 月 疾病予防と治療月間
- 1 月 職業奉仕月間 2 月 平和構築と紛争予防月間
- 3 月 水と衛生月間&米山月間 4 月 母子の健康月間
- 5 月 青少年奉仕月間 6 月 ロータリー親睦活動月間

幹事報告

野口(美)幹事

- 管理運営部門より、今後の例会の実施形態に関する提言 NO.2「オンライン型例会に関する 2770 地区の見解」が届きます。オンライン例会も出席とみなすという内容です。



委員会活動計画(管理運営)

渋谷委員長

クラブ管理運営の根幹は、クラブの存続と発展だと思います。各委員長と連携をとって会員増強に努め、楽しめる例会、為になる例会、楽しめる親睦、この 3T を進めて行きたいと思っておりますのでご協力宜しくお願い致します。



委員会活動計画(プログラム・R 情報) 戸賀崎委員長

例会プログラムとしては、ロータリーの勉強を組み入れた内容にしたいと思っています。また、各委員長と連携を取っていい例会にしていきたいと思っておりますのでご協力お願い致します。



委員会活動計画(会報・雑誌)

真中委員長

今年度は副委員長に古谷会員がいますので、何度か ZOOM から雑誌紹介を是非して頂きたいと思っています(笑)また、今年度は、各委員会から「ロータリーの友」に投稿をして頂きたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



委員会活動計画(会員増強・大会防止)

田中委員長

50 周年をより多くの会員で迎えられるよう、全ての会員が新入会員を一人以上入会するよう目標としたいと思います。また、ハイブリッド例会で長期欠席者の減少に努めたいと思います。



委員会活動計画(親睦・出席)

仁部委員長

「親しみあいの気持ちを深くする、友好の度合いを深くする」という委員会です。各委員会と協力して出席率の向上に努めたいと思います。今月の夜間例会では、コロナ対策をして、体調に問題のない方はご参加宜しくお願い致します。親睦行事に関しては、感染状況を見ながら行いたいと思っておりますのでご協力お願い致します。



委員会活動計画(職業奉仕)

年度計画書参照

ロータリーの根幹である職業奉仕を会員へ伝え、ロータリークラブにおいての職業奉仕の重要性を保持しながら地域社会に貢献できる奉仕活動を行う。

例会日: 木曜日 12:30~13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

委員会活動計画(社会奉仕)

年度計画書参照

継続事業を見直し、時代や地域社会のニーズに合った開かれた奉仕活動を行うようにする。新規事業に積極的にチャレンジする。

委員会活動計画(職業奉仕)

年度計画書参照

国際奉仕の情報をクラブに提供し、中歴北ロータリークラブとの更なる友好関係の構築を図る。

委員会活動計画(青少年奉仕)

馬場委員長

2020年度の青少年交換事業は中止になりましたが、次年度の青少年交換プログラムのスポンサークラブに向けた準備と RYLA 研修生の募集、新型コロナウイルス拡大状況を見極めながら可能な奉仕活動を行うことを目標にしたいと思います。



委員会活動計画(R財団)

渡辺(良)委員長

R財団は100年を超える歴史ある財団である。100年も続いているということは、評価され必要とされているということです。その歴史の重みを理解し、財団設立の原点と使命を全会員で共有する。1.地区財団目標額の達成 2.ベネファクター1名以上 3.グローバル補助金にチャレンジ 4.地区補助金の活用 5.財団奨学生の発掘 に努めたいと思います。



委員会活動計画(米山記念奨学会)

渡辺(孝)委員長

米山の事業と目的を理解し、更なる寄付増進に努めるが、基本方針です。また、会員一人あたりの寄付目標額は、下半期の会費をもって納入したいと思います。米山奨学生などによる外部卓話は、コロナ感染症の状況を見て可能な状況になりましたら開催したいと思います。



委員会活動計画(50周年実行委員会)

栗原委員長

杉戸 RC 創立 50 周年事業に関しては、まだ白紙の状態です。しかし、私の意向としては、地区の周年開催状況を鑑みても周年式典を大々的に行うことは考えておりません。コロナ禍で社会の価値観が変わりつつあります。ロータリーも変わらなければなりません。お金をかけた式典で存在価値を誇示するよりも、奉仕事業で秘密結社的な立ち位置こそが、今のロータリーに相応しいのではと考えています。



諮問委員会報告

関口会員

昨日、諮問委員会が行われました。6月の時点では、今回のコロナでの退会者はそれほど影響がないとっておりましたが、7月に入ってからそれなりの退会者が出ているという情報が入っております。また、地区内の周年事業に関しては、コロナの影響で半分以下になるだろうと予想されています。11月の地区大会も完全な開催は難しくまだ検討中の状態です。



地区では、これから ZOOM と通常例会のハイブリッドを推奨する通達を出すようですが、杉戸 RC は地区では一番早く導入をしているようです。埼玉県への寄付では、一人当たり2000円×会員数でも、杉戸は5月1日一番に送金されています。コロナに関しての対応は、杉戸はとても早いと評価されています。

会員報告

荻原会員

杉戸町消防団第七分団に所属する宮田会員です。6月26日、7月5日の火災には夜、早朝にも係わらず出動。杉戸町の安心安全に寄与しています。きょうは、毎週の機材点検で分団小屋に集合していました。御苦労様です。



(荻原会員は第六分団に所属しているそうです)

7/9 開催 ZOOM 報告



栗原 SAA が、新兵器を導入しました。臨場感あふれる ZOOM 例会になるよう色々工夫しています。例会場は天井が高く蛍光灯の光が届かないので、演台が暗く映ってしまいます。そこで、リモート用ライトを試してみました。

